人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 一般用医薬品（OTC）の過量服薬後に受診した者に関する研究
	●研究の対象 聖隷三方原病院において急性薬物中毒と診断、または、「過量服薬」「オーバードーズ」「OD」「自殺企図」「希死念慮」の用語の記載がある２０２３年４月１日～2025年3月末までの期間に受診した方
	●研究の目的 一般用医薬品（OTC）を過量服薬し病院を受診した者の、①社会人口学的特性及び病歴、②どの薬品を服用していたか、③どのような経緯で過量服薬に至ったのか、④どのような経路で薬品を入手したのか、を明らかにする。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2027 年３月末
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 利用する試料・情報は個人が特定される情報（氏名・診療番号など）は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外は閲覧できない状態にします。 データはパスワード付き記憶媒体（USB）に保存し、鍵のかかるロッカーで保管します。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 ・研究対象者の社会人口学的特性及び病歴：年齢、性別、家族構成、患者の職業、既往歴、合併症、家族歴、生活歴、精神科・心療内科・メンタルクリニック等の受診歴、過量服薬を理由と

	する受診回数、受診した月・曜日・時間、過量服薬した時間、入院期間 ・来院時の状態（意識レベル、来院方法、発見者、通報者、内服した場所、薬剤の種類と量）、来院時の付き添い者、受診までの経過、薬剤の選択理由、薬剤の入手方法、過量服薬を始めたきっかけ、今回過量服薬した理由、過量服薬に関する情報の入手経路、身近に過量服薬について話をする人の存在の有無
≪利用する者の範囲≫	●機関名および責任者名 浜松医科大学　木戸芳史 聖隷三方原病院　前田　香
≪外国にある者に対する試料・情報の提供≫	該当なし
≪試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称≫	国立大学法人浜松医科大学
≪試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）≫	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、使用や提供を停止することができます。ただし、個人の特定ができない試料・情報へと修正したのちは情報の削除が難しいことをご了承ください。 連絡方法は、以下≪問い合わせ先≫をご確認ください。
≪資料の入手または閲覧≫	本研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。
≪情報の開示≫	ご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

≪問い合わせ先≫	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 医学系研究科広域看護学 担当者： 木戸芳史 TEL： 053-435-2823 E-mail： ykido@hama-med.ac.jp